

2016年度商学部専門科目「経営史」

第3回「経営史の現在と具体的なイギリス生産システムの登場」

本日の目標

今回は、歴史学とは何か、また特にグローバル・ヒストリーが多様性を受け入れる点で発展して、それに対して経営史は難しい位置にあると講義した。

そこで、今回は、まずなぜ経営史は難しい位置にあるのか、グローバル・ヒストリーのように発展するにはどのようにすればいいのかを検討する。この点は、企業経営の由来と発展方向を検討するのに有意義である。

次に、なぜイギリスで産業革命が起こったのかに触れる。およそゼロからスタートしたイギリス産業革命を取り上げることは、現在の厳しい状況下での企業経営を考えるのに有益だと考えるからである。

講義内容

1 前回の復習/2 本日の授業内容

1 前回の復習

過去の問題の「発掘」ではなく現在の問題の「解明」としての歴史

主観をもった歴史家を作る、適切な流れをもったストーリー

グローバル・ヒストリーの興隆にみる多様性を把握する方向性と経営史の「落ち目」

※なぜ、経営史は「落ち目」なのか、どうすれば盛り上がるのか。

2 本日の授業内容

2.1 キーワード/2.2 経営史とは何か/2.3 イギリス産業革命の生んだ自立分散型生システム①/2.4 参考文献

2.1 キーワード

経営史/チャンドラー・パラダイム/取引コスト論/経営構想力/産業革命

2.2 経営史とは何か

経営史の成り立ちと発展

後進国ドイツにおける試み

歴史学派の影響によるイギリス経済発展の秘密の探索→個別企業の歴史的分析へ

同時期にアメリカの研究者の訪独

アメリカでの継承

登場した高等教育機関(ハーバード、スタンフォード大学等)に対する、

(1)大企業からの経営管理研究の要請

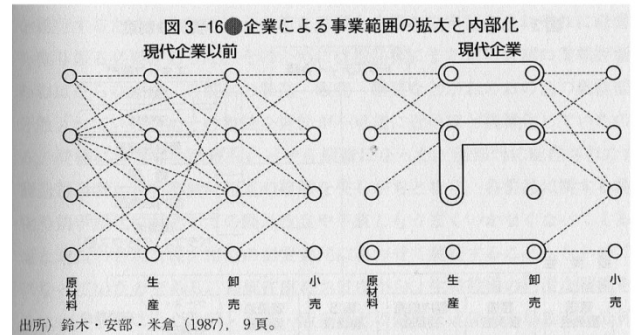
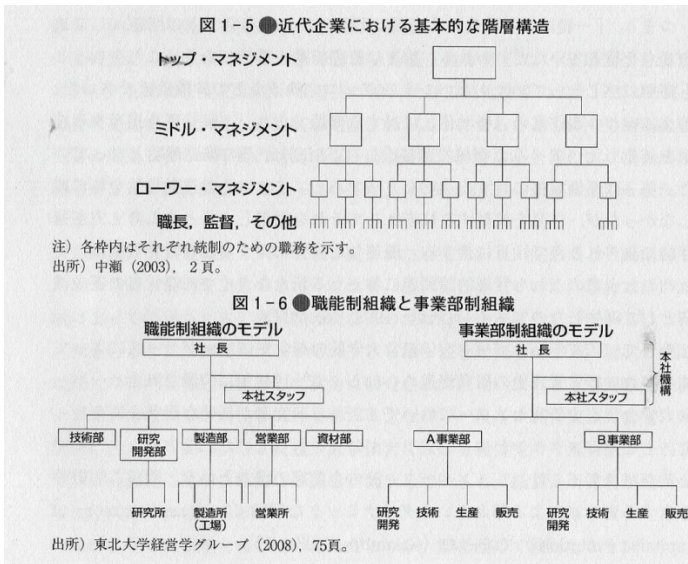
大企業の経営管理組織の整備への示唆、作業の「科学化」の検討、原価算出方法の追求

シュンペーターの影響のもとでのイノベーションをそれを引き起こす企業者への注目

⇒チャンドラー・パラダイムとしての結実

躍進するアメリカ近代企業(大企業)の組織について

- 原材料調達から生産、販売までの事業の内部化、垂直統合型組織の成立
- 経営階層制(トップ、ミドル、ローワーのマネジメント)の成立と専門の俸給経営者の登場、活躍の析出(テキスト75頁図3-16、資料1、テキスト14頁図1-5.1-6、資料2)



出所) 中瀬 (2016), 14 頁。

出所) 中瀬 (2016), 75 頁。

なぜ、企業は事業を内部化し垂直統合型組織を形成するのか

(2) 取引コスト論による説明の補強

◎「経済取引を行うに当たり、なぜすべてを市場取引に委ねず、企業組織という制度で対応するのか」
(ロナルド・コース, オリバー・ウィリアムソン)

…取引相手についての情報探索や交渉, 契約締結等にかかる費用の節約のため, 長期的な取引, 内部化へ

=右肩上がり市場への大量生産, 大量販売の仕組み作り

第 2 次大戦後におけるアメリカ大企業による世界席捲

チャンドラー・パラダイムの拡散

企業経営のチャンドラー・パラダイムへの収れん化という意識

⇒多様な形態は各国の歴史的, 文化的条件の影響 (テキスト 15 頁)

オイルショック前後からの日欧企業の台頭, アメリカ企業の相対的な地位の低下

そのもとで, 中小企業, 特にベンチャー企業の活躍, 大企業間の戦略的提携など

垂直統合型への疑念, 分散型組織というオルタナティブの提示…「サード・イタリア」(テキスト 17 頁 図 1-7, 資料 4, DVD)

⇒(3) 単一のチャンドラー・パラダイムでは包摂できない

そもそも, 企業の経営行動の多様さは, 経営者の (4) 経営構想力 が関係(資料 4)

企業経営の主体である経営者は独特, 多様

資料 4

以上のように, 経営史の議論は混とんとしてしまった。中川 (1981) が指摘したように, そもそも企業を構成するのは生身の人間であること, 企業の経営行動とは, 大河内(1979)が指摘するように, 経営者の「経営構想力」に裏付けられている以上, 個別性, 多様性は免れないのである。

というのは, 第 1 に, 経営者は自らを取り巻く「経営の客観的諸条件から, 自己の目的達成上の, したがって経営行為の遂行に係わる, さまざまの刺激や問題を知覚」し, 第 2 に, 「多様な知覚を統一して, そこから自己にとっての問題を主体的に認識」し, 第 3 に, 以上のように「経営行為に係わる経営諸変数について知覚し認識した多様な問題を, 自己の目的に照らして, 変数の値の選択に反映

させ、経営行為の形の総体の枠組みのなかに組み込む」という「総合」を行い、第4に、その「総合」とは「現在の経営行為の形を理解するためではなく、現在の経営諸条件が含む事象が、未来において発現するであろう、その可能性や問題や意味を先見して」、第5に、「経験を想起しつつ、自己の目的を達成するために、未来における可能な経営行為の形を求めて、具体的な見取り図を構想する」ものである。なお、以上のような「構想」に結集する企業者の諸能力、すなわち、知覚、認識、総合、先見、構想の諸力を包括して大河内は「経営構想力」と呼んだ。企業者によって、「企業の進路を定めるごとき、非日常的、戦略的意思決定は、すべて、かかる経営構想力に媒介されて行なわれる」（大河内、1979、31-38頁）のである。

経営史はどうあるべきか

企業経営とは、事業の適切な管理運営

…事業活動の継続性向上、ステークホルダーの便益の最大化

歴史とは、歴史家によって作られた流れをもったストーリー

⇒経営史

- 「当該企業の事業継続性を高めるために、(5)現在の企業経営に関わる課題を意識して、企業経営行動を歴史的に検証、検討するもの」（テキスト18頁）
- 分析によって明らかとなる他社の経営行動にイノベーションのヒントの可能性あり

※教訓とするための一般化について

多様性を前提に、ある具体的な問題意識に沿って個別の例を束ねて分析すること

この後は生産システムの歴史的な検討による一般化

具体的な生産システムの歴史的検討

本書の問題意識

なぜ、日本のエレクトロニクスメーカーはグローバル競争に敗れたのか

日本のものづくり=生産システムは、なぜ、敗れたのか、どのようなレベルにあるのか

先行研究（テキスト19頁）

藤本（2015）…(6)現場視点の歴史観の強調、しかし、たかだか70年間で、しかも日本のみの分析
坂本（1998）（2009）…生産活動を系統的に把握、生産活動の要素、循環、構造の面からの検討、地域性と歴史性に関心

自立分散型、垂直統合型、柔軟統合型、分散統合型というように「生産システムの進化」を提示

⇒坂本の「生産システムの進化」を批判的に継承

2.3 イギリス産業革命の生んだ自立分散型生産システム

なぜイギリスで産業革命が起こったのか

なぜイギリス産業革命を取り上げるのか

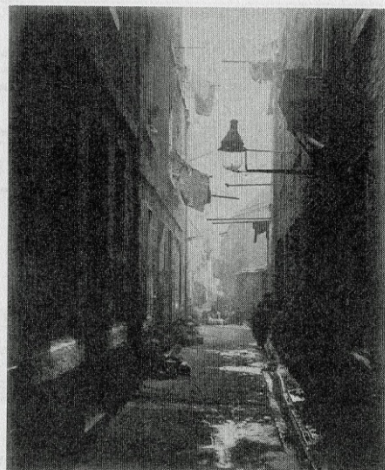
⇒現在のように、なかなか新たな産業が生まれない時期にとっての示唆

「産業革命はなかった」のか

産業革命について…(7)社会変革を伴うもの（テキスト24頁図2-1、資料5、DVD）

資料5

図 2-1 ●産業革命期のグラスゴーの様子



出所) Griffin (2010), p.158.

出所) 中瀬 (2016), 24 頁。

従来の産業革命についての評価

「断絶」＝「悲惨」説と「連続」＝「楽観」説

→工業化に向けた「離陸」の時期 (ロストウ)

⇒国内総生産成長率への注目

クラフツの異論

ディーン=コール (1962 年) に対するクラフツ (1985 年), クラフツ=ハーリィ (1992 年) の数値の低さ

クラフツの異論に依拠して, 産業革命という概念自体の追放という動き

産業革命の「相対化」

蒸気機関, 紡績機械, 織機などの発明, そしてイギリス経済力の増大は事実

…イギリス産業革命の分析へ

産業革命以前のイギリス

産業革命につながる前提条件

なぜ産業革命はイギリスで起こったのか

① (8) 私有財産制度の保証

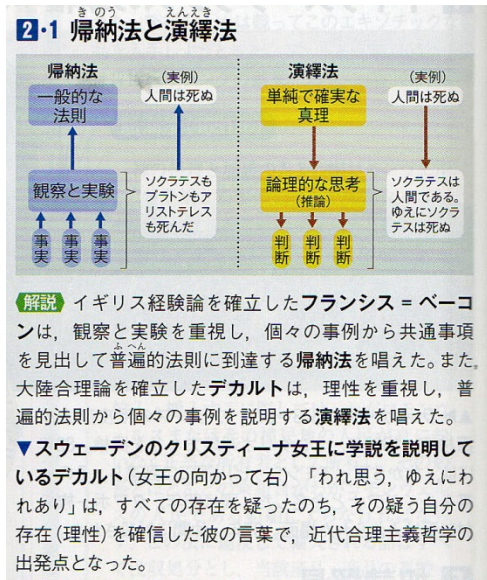
債務者監獄制度の廃止

② 科学的合理主義の展開

皆既日食についての理論と現実

カトリック教会の権威失墜で帰納的方法論 (資料 6) の是認, 普及

資料 6



出所) 木村他監修 (2014), 154 頁。

生態環境上の問題

食糧、原料、エネルギーによる国内の植物性生産物への依存

食糧…三圃制による発展するも有限。

村の全耕地が三つの耕圃に分割され、一つは休閒地とされ、他の2耕圃にはそれぞれ春播き(大麦、エンバクなど)あるいは秋播き(小麦、ライムギなど)の穀物などが植え付けられ、これらが順次繰り返された)の実現(コトバンク, 2016)

原料…牧羊業

エネルギー…木炭としての利用

イギリス名誉革命後の国政改革

オランダ財政学活用による財政改革で戦費調達(テキスト 30 頁)

軍事的優位の達成

⇒大英帝国の確立で解決

三角貿易の実践…奴隷貿易からの収益

2.4 参考文献

NHK 高校講座「世界史 『産業革命と社会問題』」

<http://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/sekaishi/archive/chapter027.html>

大河内暁男(2001)、『経営史講義』(第2版) 東京大学出版会

木村靖二・岸本美緒・小松久男監修(2014)『山川 詳説世界史図録』 山川出版社

コトバンク(2016)「三圃制」

<https://kotobank.jp/word/%E4%B8%89%E5%9C%83%E5%88%B6-838932>, 2016/10/21

シネマトゥディ(2011)「映画『アメイジング・グレイス』予告編」

<http://www.youtube.com/watch?v=YLLbx8QclDo>, 2014/05/02